

☆ 中 国

**繊維業況** 2017 年上半期の繊維業況

2017 年の上半期は、コスト上昇、国際競争激化などの厳しい環境に直面したものの、繊維企業は、モデルチェンジ、アップグレードを推進、スマート製造、緑色製造を推進し、供給サイドの構造的な改革が着実に進んだ。「三品(品質向上、品種増加、ブランド創造)」戦略も効果的に実施され、繊維業界は全体的に「安定の中で好転に向かい、質と効率がリードする」といった特徴を示している。

中国化繊情報網によると、2017 年 1 月～6 月、繊維業界の工業増加値(付加価値額に相当)は、前年同期比 5.3%増で、前年同期の伸びに比べ 0.4 ポイント上昇、2017 年上半期は安定から好転に向かう兆しをみせている。

2017 年 1～6 月、規模以上企業の繊維生産は、化繊、糸、生地、アパレルはそれぞれ前年同期比 4.8%増、5.1%増、4.5%増、1.9%増と小幅増であった。

2017 年 1～6 月、繊維業界の 500 万元以上の固定資産投資完成額は前年同期比 9.1%増の 6,130.1 億元、伸び率は前年同期を 2.0 ポイント上回った。同期間の東部、中部、西部の投資完成額の伸びはそれぞれ前年同期比 7.9%増、11.0%増、9.8%増となった。中部の伸びが前年実績を上回ったが、東部と西部の伸びは前年実績を下回った。ただし、新疆地区は前年同期比 49.3%増、その伸びの絶対量は西部地区の絶対量を上回った。

2017 年 1～6 月、中国の繊維品輸出は前年同期比 2.2%増の 1,240.5 億ドルとなった。そのうち、紡織品輸出は 3.1%増の 531.2 億ドル、アパレル等二次製品輸出は 1.4%増の 709.3 億ドルであった。企業類型からみると、民間企業の輸出額が全体の 67%を占めた。主要輸出市場からみると、米国、日本、EU の伝統市場における競争は激しくなっている。米国、日本、EU の輸入市場に占める中国のシェアはそれぞれ前年同期比 0.9 ポイント減、1.0 ポイント減、0.5 ポイント減となっている。その一方で同期間に、米国、日本、EU 市場において、ベトナム、バングラデシュ等が中国に代わってシェアを上昇させている。2017 年 1～6 月の繊維業界の「一帯一路」沿線国家への繊維品輸出額は 429.1 億ドルとなった。これは繊維品輸出総額の 34.6%を占め、前年同期比 0.9 ポイント上昇している。そのうち、ベトナム向けが 57.9 億ドル、13.5%を占め、中国の「一帯一路」沿線国家で最大の市場とな

っている。次いでロシアへの輸出が 37.9 億ドルとなった。アフリカ向け輸出額は 94.2 億ドルで輸出総額の 7.4%を占め、日本向けと匹敵する。

2017 年 1～6 月、全国規模以上のアパレル・靴・帽子・ニット製品小売額は前年同期比 7.3%増となり、前年同期の伸びを 0.3 ポイント上回った。全国ネット衣類商品小売額は前年同期比 20.8%増となり、前年同期の伸びを 3.9 ポイント上回った。

2017 年 1～6 月、規模以上繊維企業の売上高は前年同期比 9.6%増の 3.67 兆円となった。その伸びは前年同期を 5.0 ポイント上回った。利益総額は前年同期比 11.6%増の 1,880.3 億円、その伸びは前年同期を 5.3 ポイント上回った。

2017 年下半期は、世界経済の回復は続き、中国経済も着実に成長、消費、輸出入、サービス業は拡大し、投資も上昇、消費マインドの改善や内外市場の需要の緩やかな成長が続く。、ただし、世界貿易の不確実性は強まり、輸出は引続き試練に直面する。そうした見通しのもと、繊維業界の工業増加値は引き続き小幅に上昇し、売上、利益総額も安定成長し、輸出も好転に向かうことが予想されている。